

校種・教科名・科目名(単位数)・実施学年	普通科・総合スポーツ(2単位)・3学年
【学習到達目標】 ○スポーツを通じた社会参画、スポーツの指導や運営及び管理、スポーツの知識や実践に関する資質や能力を育てる。 ○球技の専門的な理解と高度な技能の習得を目指すこと及び主体的、合理的、計画的な実践を通して自己の課題を解決できるようにすることを強調するとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。	

運動領域	種目・内容	学習のねらい
球技	バスケットボール	○ゴールへのシュートを競い合うゲームの特性と技能の構造を理解し、既習の集団的技能や個人的技能をゲームに十分活用できるようにする。 *ゲームでは、作戦の立て方、審判法、ゲームの運営の仕方を取り扱うことができるようにする。 *集団的技能は、速攻、セットオフENSE、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンスを取り上げ、ゲームにおける具体的な攻防の場面を想定しながら、互いに協力して、攻防に有利な働きを身につけることができるようにする。特に攻防の切り替え場面の展開の仕方を取り扱うようにする。 ○全種目の企画、立案から運営までを生徒が自主的・自治的に行うことができるようにする。
	ハンドボール	○ゴール型のゲームの特性を理解し、攻撃から防御への連携プレーをゲームで生かすようにする。 *ゲームでは集団的技能や個人的技能を活用し、チームの特性を生かすようにする。 *集団的技能は、攻撃の技能としての速攻やセットオフENSE、防御の技能としてマンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス、ゴールキーパーとの連携プレーなどを、攻防の競り合いの中で組織的に活用できるようにする。 ○全種目の企画、立案から運営までを生徒が自主的・自治的に行うことができるようにする。
	サッカー	○主として足を用いてボールを運び得点を競い合うゴール型のゲームの特性と技能の構造を理解し、既習の集団的技能や個人的技能をゲームで生かすことができるようにする。 *ゲームでは、作戦の立て方、審判法、ゲームの運営の仕方を取り扱うことができるようにする。メンバーのポジションや特性を生かした攻防の作戦を工夫して、組織的なゲームができるようにする。 *集団的技能ではショートパスやロングパスを用いたオープン攻撃や中央突破の攻撃、スリーバック型やフォーバック型の防御などの技能を実践の場面を想定しながら身につけることができるようにする。また、特に攻防の切り替え場面の展開の仕方を取り扱うようにする。 ○全種目の企画、立案から運営までを生徒が、自主的・自治的に行うことができるようにする。
	バレーボール	○バレーボールではネットをはさんで打ち合うネット型のゲームの特性を理解し、チームの特性を生かした攻撃と防御の連携プレーをゲームで発揮できるようにする。 *ゲームにおいては相手に対応した作戦を考え、正確なパス、トス、高い打点の力強いスパイク、ブロック及びレシーブなどの個人的技能を速い攻撃や時間差攻撃などの多彩な連携プレーとして組み立てることができるようにする。 ○全種目の企画、立案から運営までを生徒が自主的・自治的に行うことができるようにする。

球技	テニス	<p>○テニスでは、ラケットでボールを打ち合うネット型のゲームの特性を理解し、グランドストロークを中心としてボレー、スマッシュ、ロビングサービス、レシーブなどの技能を高め、相手の動きや打球に対応して作戦を考えたゲームができるようにする。また、ダブルスではパートナーとの攻防の連携パターンを工夫して、ゲームを有利に展開することができるようにする。</p> <p>○全種目の企画、立案から運営までを生徒が自主的・自治的に行うことができるようにする。</p>
	バドミントン	<p>○バドミントンでは、ラケットでシャトルを打ち合うネット型のゲームの特性を理解し、オーバーヘッドストロークを中心として、ハイクリア、ドロップ、ドライブ、スマッシュ、ヘアピンなどのフライングを使い分けて、相手の動きやフライングに対応して作戦を考えたゲームができるようにする。また、ダブルスではパートナーと攻防の連携パターンを工夫して、ゲームを有利に展開することができるようにする。</p> <p>○全種目の企画、立案から運営までを生徒が自主的・自治的に行うことができるようにする。</p>
	ソフトボール	<p>○ソフトボールでは、野球型のゲームの特性を理解し、ゲームでは集団的スキルや個人的スキルを生かした組織的なプレーができるようにする。</p> <p>*集団的スキルは、チームの特長を生かして作戦を立て、具体的な実践の場面を想定しながら協力して攻撃や防御ができるようにする。</p> <p>*個人的スキルは、投球、捕球、打撃、走塁などのスキルの向上を図ることができるようにする。</p> <p>○全種目の企画、立案から運営までを生徒が自主的・自治的に行うことができるようにする。</p>
	卓球	<p>○卓球では、テーブルをはさみ、ラケットでボールを打ち合うネット型のゲームの特性を理解しロング、ショート、カットなどの打法、サービスレシーブなどの技能を高め、相手の動きや打球に対して作戦を考えたゲームができるようにする。また、ダブルスではパートナーの特徴を生かした攻撃と防御の連携パターンを工夫して、ゲームを有利に展開することができるようにする。</p> <p>○全種目の企画、立案から運営までを生徒が自主的・自治的に行うことができるようにする。</p>

評価の観点・方法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで計画的に運動しようとしているか。 ・公正、協力、責任などの社会的態度が身についているか。 ・健康や安全に留意して運動しようとしているか。
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題を見つけ出しているか。 ・課題解決をめざして、活動の仕方を考え工夫しているか。
運動の技能	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力と運動の特性に応じた課題解決を行い技能を高めているか。 ・自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の行い方を身につけているか。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・運動技術のしくみと運動の学び方について理解できているか。